

## 総会継続審議

6月19日(火) 午後1時30分～4時30分 於:ウエルプラット3階休憩所

- 議題: ①例会時に情報交換会をしよう  
②総会での継続審議……地図保管について、会場について  
③代表から出された会の活動指針に対する意見交換  
④北総里山クラブへの提案書(24日提出)

参加者:坪井・森田・塚(義)・塚(初)・米田・寺園・岩本・相馬(な)

### 議題①例会時に情報交換会をしよう……賛成

気楽に発表しあいたい  
必要な人に情報を提供してあげたい  
例会時に まづは、柔らかい雰囲気です。

### 議題②・地図の保管について……地図担当:坪井さん

白井市の環境課との接点を持ちながら活動することが大切ではないか?  
接点を持つことと自立は別問題。  
市役所に頼まないで 自分たちで管理しよう。

・会場について……社会教育関係団体に登録する。

会場費が半額になる。  
市役所を活動拠点とすることで、センターのお手伝いから逃れる。  
みんなの活動が広範囲なので、市内各センター利用可。

### 議題③代表の活動指針に対する意見交換

……今まで出された全ての項目の1つ1つについて、質問、意見交換をしました。  
重要度の★マークは、参加者の反応の目安です。  
反対意見がでなければ★★★を標準にしました。

最終目標……………10年後

① 谷田・武西を地域生態系保護区として県立公園化を目指す(生態系保護区(Bio-Reserve)と自然史博物館(Natural History Museum)の設置)

重要度★★★★★

- ・谷田・武西の地域生態保護区は理解できるが、“県立公園”という単語の意味合いが少し分かりづらいので説明して欲しい。
- ・この項目を実現するためには、条件を詰めていく必要がある。

- ・人家を含めた里山全体保全という意味合いと 国立公園では大げさだし、市をまたがるので市民公園でも無理があるので、県立公園なのではないか？
- ・10年後という時間設定は、入れないで欲しい。

## ② 稀少生物種保護のスポット生息地保全(ピオトープの指定と保護管理)

重要度★★★

- ・私たちが調査をもとに実行できる。
- ・盗掘がひどいので、公開する場所としない場所を考える必要アリ。
- ・稀少種などについては、要望する団体先においてのみ、記載する。
- ・イメージとして狭い区域を想像する。

## ③ 地域農業におけるIBMの実現

重要度★★

- ・違和感がある。
- ・北総生きもの研究会は、これを実行していく主体ではなく、協力、支援の立場。
- ・地域農業におけるIBMの支援に変更して欲しい。

ベンチマーク(5合目).....5年後

「ベンチマークって何？」

「えっ、休憩所とか、休むとかいう意味でしょ?! 多分・・・」

## 運動・業務委託受注:NPOとして組織化し、下記業務を受注する

重要度?????      もう少し説明して欲しい  
 お金はどうなるの?  
 基金をつのるのですか?

- 1) 北総地域で展開される自然環境保全の地域市民活動(地球環境保全、福祉、エネルギー問題、農業経済)を、生物多様性保全を核とした中地域活動で結びつける。すなわち、北総里山クラブを軌道にのせる。

- ・北総生きもの研究会は、北総里山クラブの1構成団体である。
- ・最終目標の達成のためには、色々なところと協力が必要という認識。

- 2) 北総地域の生物多様性の現状を把握し、それに基づいて農地や樹林地、河川、調整池などにおける生物多様性保全管理の評価と提言できる。

- 3) 北総地域の生物多様性の現状を把握し、それに基づいて行政・事業者による開発事業の自主アセスメントと自然環境保全のための勧告をする。

- ・アセスメントって言葉、よく考えると以外にむづかしい。
- ・調査をもとに科学的根拠で開発事業者に勧告するために 調査を自主的にしていくのではないかと認識している。
- ・生きもの調査によってこういうことが可能ならば、役に立てる。

実現の手段……………着手  
 この部分の積み重ねをやっていくことが、自分たちのできることと思っている。

### ① 環境ファン、スタッフ(理解者)を増やす 裾野を広げる活動

重要度★★★★★

- ・会員を増やしたい。
- ・市民を巻き込んでのホオジロ観察会は、ガイド役なので気を使うので大変。
- ・観察会で人を呼んで、何をしたら喜ぶか……講師の方は“おみやげ”といったが心の充足も重要かも……。

### ② 調査による地域の生物多様性把握と評価

重要度★★★

- (ア) 指標種の分布調査によって、自然環境の豊かな地域を把握する
- (イ) 指標種のセンサス調査によって、地域の環境変化を捉える
- (ウ) 農薬散布による影響調査

### ③ 専門家(賛助会員)による調査のアシストと勉強会

重要度★★★

- (ア) 調査の道案内と専門家から学ぶ勉強会、観察会
  - ・好きなことなら、人に強制されなくても進んで勉強する。
  - ・自分たちのための勉強会は人に教えなくていいから、楽でいい。

人材育成について

#### ①『北総地域での市民環境調査員養成講座を環境課と会で協働運営する』

重要度★★★

- ・養成講座の内容の濃さ、深さについていくのが大変だった
- ・養成講座は楽しかった
- ・養成講座は1年だけではなく、2年、3年と繰り返すと自然のサイクルに馴染んでくる。
- ・人を育てることは重要。

#### ②『北総いきもの研究会は、地域の生きもの指導員としての人材バンク』となります

## 重要度★★

- ・要するに、勉強せよ、ということですね。

### 1) 市内の湧水や河川を利用した親水公園と それらをつなぐ、ウォーキング・サイクリングロードづくり

#### 重要度★★★★……………担当 寺園

- ① 先進地域の見学会をしたいと思いますので、そのうち企画立案をします。
- ② ≪しろい水辺マップ(仮称)≫の作成

#### (提案の想い)

白井市内に残されている

湧水や河川を利用した親水公園と

それらをつなぐ、ウォーキング・サイクリングロードで

子どもだけでなく、大人も

水遊び、水生生物の観察や水辺の風景を

近場で気軽に楽しむことができるようになりたい。

### 2) 立ち木トラスト制度を応用した花の木トラスト運動の展開:

#### 重要度★

- ・少しぴんと来ない。
- ・例えば、という例として挙げる。
- ・保全区域から外れるものでも個人所有の木など、重要な木は保護していくという意味ではないか。
- ・以前、地域通貨などというものを考案したことがあるが、手間と利潤のバランスから見て 実施に至らなかった。

### 3) ノアの箱庭計画:

#### 重要度★★

- ・平田先生に 開発などのため、植物を緊急避難させても その環境になければ意味が無いといわれた。(DNAレベルでは、移動することによってその場所の植物ではなくなる。)ノウハウもなく、安易に里親になるのは会としては賛成で最近の専門的ノウハウを勉強してから実行にうつしたい。
- ・将来、一般市民が預かれるよう(里親)になるといい。
- ・モラルの低下を生みかねない。
- ・やり方が問題。

## 「北総台地の残された緑の保全にむけて」

### 1) 開発から取り残された自然を残す

- 1、環境学習の場の提供
  - ・開発から取り残された自然を活用
- 2、小学校区内の保全地区と拠点づくり（身近な自然）
  - ・身近な生きものとふれあう場所の提供 ⇒遊び場づくり
  - ・小学校区内の林・川・湿地・原っぱ・ビオトープを指定し、保全する
  - ・環境学習の拠点とする

小学校区	拠点	林	草原	川	湿地	田	ビオトープ
白井第1小学校	運動公園						
白井第2小学校	平塚分校						
白井第3小学校							
大山口小学校							
清水口小学校							
七次台小学校							
池の上小学校							
南山小学校							
桜台小学校	福祉センター						

表を埋める作業  
 (保全地地区の選定)

- 3、ワンランク up した自然と拠点づくり
  - ・総合学習、遠足、自然体験の場として提供

### ⇒谷田・武西のフィールドミュージアム構想

#### 重要度★★★

- ・保全を実際に実現する際、小学校区、中学校区で捉えることは非常に有効ではないか。

### 2) グリーンベルト構想（森の維持と森をつくる）

- 1、森を維持する
  - ・保存林の指定
  - ・林の相続税の免除と公共+地権者との共同維持
- 2、木を植える事業
  - ・小さな林と大きな林をつなげて緑の回廊をつくる
  - ・河川に沿って木を植える

- 3、グリーンベルトを活用した散歩道
  - ・遊歩道の整備とベンチ、休憩場、トイレの整備
- 4、公園には虫取りができる原っぱをつくる

重要度★★★

- ・具体例として「ベンチマーク2」とすり合わせるができる。  
(最終目標②にはいるのではないか)

### 3) 農業の維持

- 1、農薬の空中散布廃止 (実現の手段②)
- 2、減農薬で安全な食を提供する上で、草刈ボランティアのシステムづくり
- 3、農業者への支援
- 4、冬季たん水の奨励
- 5、生きもの優良田んぼ制度
  - ・「安全・安心アカガエルブランド米」、「安全・安心タニシ米」「安全・安心アマサギ米」など

重要度★★

- ・農業というものをしらないのに 実際にやる主体にはなれない。
- ・農薬散布については、実現の手段2) に追加項目として入れこんだらどうか。
- ・生きもの優良田んぼ制度…これは、例えばという認識でいいですね。

### 4) 情報公開

- 1、残土・開発計画の公開と市の広報を使って掲載する
- 2、河川への排水チェックと結果の情報を広報を使って掲載する
- 3、開発計画の是非をとう住民投票

重要度★★★

- ・情報をどこに問い合わせればいいのか・・・が分からない。
- ・市に問い合わせる課はあります。
- ・ネットで色々調べられます。
- ・情報公開は重要かもしれませんが、北総生きもの研究会の活動方針にするのはどうでしょうか？
- ・一般市民が知るべきことを知らされていないため、どこかの項目で(別立てして)提案するとよい。

#### 議題④ 北総里山クラブへの提案書(24日提出)について

会の活動方針をそのまま提案するのではなく、  
「**最重要課題として県に提案するとしたら、どれか？**」  
という選択をしてみたら……。  
1人1つのみ、最重要課題に挙手願います！

・**谷田・武西を地域生態系保護区として県立公園化を目指す…4名**

ために(目的)

・**環境ファン、スタッフ(理解者)を増やす 裾野を広げる活動…3名**

が重要(手段)。

・(森田意見)「北総地域での希少生物種保護の生息地保全」(最終目標②)とし、タウンミーティング提案書の中に盛り込んだ方がよい。

理由:現在進行中の指標種調査が北総地域での希少種保護につながるため

- ・企業庁の土地の売却期限が決まっている以上、それを保全していくことが最重要課題になる。
- ・谷田・武西という地名を公表して保全の要望。  
できるだけ、谷田・武西地区の価値を多くの人に認識してもらおう。
- ・今の状態で、多くの人を谷田・武西にいれるのは危険。
- ・場所だけ保全しても、将来に生きる人たちがその価値が分からなければ意味が無い。
- ・生物多様性と同じように人も多様であるので、この会が閉鎖的であるのは良くない。
- ・少し、植物が好き・・・という人も取り込んでいけたらいいけれど、この会が実際やっていることについていけない、といわれかねない。
- ・色々な人をとりこんで楽しい会というのでやっていったら、人の出入りも激しくなり、情報もオープンになる。
- ・北総里山クラブが機能していくかが、不鮮明。

#### 議案⑤ その他

市民団体活動支援助成金制度について (広報しろい 6月15日号)

- ・対象団体としての項目は充分充たしている。
- ・講座など1つの行事をするごとに3万円くらいが目安。
- ・資料代は、みえないところで かかっている。
- ・自立運営には お金が必要。

- ・ 3年タームになるので、3年間の企画立案と予算計画が必要である。計画を実行できるかが問われる。

をする必要がある。

- ・ 行事を自主的におこなわないと 先生や事務局にこれ以上の負担は無理。
- ・ 助成金を取ることは、責任が出てきますが、環境フォーラムの担当者でさえ出ない現状で、無理ではないか？
- ・ 人手不足。
- ・ 申請は8月までなので 時間をかけて ゆっくり話し合しましょう。

- ・ (追加)「6/15 広報しろい」(薄緑色四角内に記載)

「みなさんが自主的・自発的に行う公益活動 (不特定かつ多数の人の利益の増進に寄与する活動) を財政的に支援する」となっている。現時点での活動では、北総生きもの研究会の活動が直接的にあてはまるか、考える必要がある。

- ・ こうしたいという企画があれば、企画立案と予算計画案をだせば、この制度を活用し、申請することができる。